

中学2年生（担当 大和田）

みなさん、こんにちは。

元気になっていますか？体調はどうですか？

次の課題は、休校明けの授業の予習となります。それぞれ教科書を参考にしてプリントの穴埋めを完成させ次の登校日に提出してください。

元気に再会できるのを楽しみにしています！

No. 1 人類の出現と進化（P22～23）

【人類の出現】

現在知られている最も古い人類は、今から約700万年から600万年前にアフリカに現れた（ ）で、このときにはすでに、後ろあし（足）で立って歩いていたと考えられています。立って歩くことで、大きな脳を支えられるようになり、また、自由に使えるようになった前あし（手）で道具を使用することを通じて、次第に知能が発達していきました。

今から250万年ほど前から、地球は寒冷化し＝（ ），陸地の約3分の1が氷におおわれるような時期（氷期）と、比較的暖かい時期（間氷期）とがくり返されました。その間にも人類は少しずつ進化していき、石を打ち欠いてするどい刃を持つ（ ）を作り始め、これを使って、動物をとらえて食べたり、猛獣から身を守ったりするようになりました。

今から200万年ほど前に現れた（ ）は、やがて火や言葉を使うこともできるようになりました。今から20万年ほど前には、アフリカで、現在の人類の直接の祖先に当たる（ ）＝（ホモ・サピエンス）が現れ、世界中に広がりました。狩りや採集を行って移動しながら生活し、打製石器を使っていた時代を（ ）といい、1万年ほど前まで続きました。

【新石器時代】

今から1万年ほど前に、気温が上がり始めると、食料になる木の実が増えました。また弓と矢を発明したことで、小形で動きの素速い動物をとらえることができるようになりました。こうして人々は、木の実や、魚、貝、動物をとって食料にしていたが、やがて麦やあわ、稲を栽培し、牛や羊などの家畜を飼う所も現れました。このころ（ ）が発明され、食物を煮ることができるようになりました。また、木を切ったり、加工したりしやすいように、表面をみがいた（ ）も作られるようになりました。このように、土器や磨製石器を使い、農耕や牧畜を始めた時代を、（ ）といいます。

No. 2 古代文明のおこりと発展 (P24～25)

[文明のおこり]

アフリカやアジアの大河のほとりでは、農耕や牧畜が発達し、人々が食料を計画的に生産してたくわえるようになりました。そしてたくわえた食料をめぐる争いが増え、やがて強い集団が弱い集団を従えて、国ができました。

初めは、人々から選ばれて、戦争や祭り、用水路の工事などを指揮していた人が、次第に人々を**支配する者** (王や神官, 貴族) になり、**支配される者** (農民や奴隷) との間の区別ができました。

やがて神殿や宮殿などを持つ都市が生まれ、また、戦争や、神をまつときに使う () や () が作られるようになり、() も発明されました。こうして文明がおこりました。

[文明の発展]

アフリカやアジアでは、() 文明、() 文明、() 文明、() 文明が発展しました。エジプトでは、毎年夏に () 川がはんらんし、後に養分の多い土を残すため、農耕が発達し、小さな国々が生まれました。やがて、紀元前 3000 年ごろには国々が統一され、神殿や、神のように敬われた国王の墓として () が造られるようになりました。ナイル川のはんらんの時期を知るために () が発達し、太陽を基準にして1年を () 日として () か月に分ける () が作られ、() も発明されました。 () 川と () 川のほとりのメソポタミアでは、紀元前 3000 年ごろには国々 (都市国家) が生まれ、その守り神をまつ () が建てられました。 () が発明されて粘土板に刻まれ、月の満ち欠けに基づく () や、時間を () 進法で測ること、1週間を () 日とすることが考え出されました。

エジプトとメソポタミアをふくむ地域は、() と呼ばれます。やがてオリエントでは、() が発明され、また紀元前 1000 年ごろまでには鉄器が広く使われるようになりました。

一方、インダス川のほとりでは、紀元前 2500 年ごろに、整備された道路・水路などを持つ都市を中心に、インダス文明が生まれました。紀元前 1500 年ごろ、ここに中央アジアから () が侵入し、神に仕える神官 = () を最高の身分とする身分制度 = (後の 制 度) を持つ国々を造りました。

No. 3 中国文明の発展 (P26～27)

[中国文明の発生]

中国では、紀元前 4000 年より前に、()の中・下流域であわなどを、()の下流域で稲を栽培する農耕文明が生まれました。紀元前 16 世紀ごろになると、黄河の流域に()という国がおこり、この国では、優れた()や、漢字のもとになった()が作られました。

殷は、紀元前 11 世紀には()によってほろぼされました。やがて周の支配力は次第に弱まり、多くの国々が争う戦乱の時代になりました(春秋・戦国時代、紀元前 8 世紀から紀元前 3 世紀)。国々はそれぞれ国の力を強めようとしたため、()製の兵器や農具が広まり、農業や商業が発達しました。また紀元前 6 世紀ごろには()が現れ、家族の道徳が社会を安定させる本であり、支配者は() = (思いやりの心)と() = (正しい行い)を基本にした政治をするべきだとする() = (儒教)を説くなど、新しい思想も生まれました。

[統一帝国の成立]

紀元前 3 世紀には、()の王が中国を統一する帝国を造り上げ、初めて「皇帝」と名乗りました()。秦は、文字や長さや重さ、容積の基準、貨幣を統一し、また、北方の遊牧民の侵入を防ぐために()を築きました。しかし、厳しい政治に対する反乱が広がり、統一してわずか 15 年でほろびました。

かわって中国を統一した()は、紀元前 2 世紀の武帝のときには、朝鮮半島に()などを設け、中央アジアも支配下に入れて大帝国になりました。このため、「() = (絹の道)」を通して、中国から()などが西方にもたらされ、西方からは()やぶどう、インドでおこった仏教などが中国に伝わりました。漢の時代には儒学が国の教えになって広がり、紙も発明されました。

一方、朝鮮半島北部からその北にかけての地域では、紀元前後になると、小国を統一した()がおこりました。

No. 4 ギリシャ・ローマの文明 (P28～29)

[ギリシャの都市国家]

古代文明が栄えた（ ）の地域は、紀元前 6 世紀に、東から勢力を広げてきた（ ）の支配下に入りました。一方、その西にある地中海では、（ ）人が独自の文明を築いていました。

地中海沿岸は、農耕や牧畜に適した気候で、古くから商人の活動も活発でした。ギリシャ人は、（ ）や（ ）のような都市国家＝（ ）を地中海各地に建設しました。こうした都市国家は、丘の上の**神殿**とふもとの**広場**とを中心に造られました。国の中心は、奴隷を持ち、農業を営み、戦争時には兵士として戦う男性の市民で、アテネでは、男性の市民全員が参加する（ ）を中心に民主的な政治が行われていました。紀元前 5 世紀にペルシャがギリシャに攻めこむと、ポリスは連合してこれを撃退し、ギリシャ文明は全盛期をむかえました。**ギリシャでは、演劇や彫刻などの芸術や、哲学や数学、医学といった学問も発達しました。**

[ヘレニズム]

紀元前 4 世紀になると、北方の（ ）が、ギリシャを征服し、さらに（ ）大王の下で東に遠征してペルシャを征服し、インダス川にまで達しました。この結果、ギリシャの文化が東方に広まってオリエントの文化と結び付きました。これを（ ）と呼びます。ヘレニズムの文化は、後にインド、中国、日本の美術にも影響をあたえました。

[ローマ帝国]

ギリシャの西のイタリア半島中部には、（ ）人が住みついていた。ラテン人が造った都市国家のローマは、紀元前 6 世紀には、貴族を中心とする（ ）の国になり、ローマはその後イタリア半島全体に支配を広げました。ローマはさらに紀元前 30 年には地中海を囲む地域を統一し、同じころ、皇帝が支配する（ ）に変わりました。

ローマ帝国は、世界最大級の都市ローマを首都とし、高度な文明を築きました。長さや重さ、容積の基準を統一し、道路網を整え、各地に水道や浴場、闘技場などの施設を造りました。また、ローマの法律や暦は、後のヨーロッパでも長く使われました。

ローマ帝国は 4 世紀に東西に分かれました。東ローマ帝国＝（ ）帝国) は 15 世紀まで続きますが、西ローマ帝国は 5 世紀にほろぼされ、西ヨーロッパでは小国が分立するようになりました。